

アスリート委員会からの意見書と回答

ショートボードメン 1、2 級

・点数のスケールの幅が狭い及びもう少し点数の幅を広げてわかりやすい評価をして欲しい。

⇒その日のポイントのウェーブコンディションに対して検証をしてシミュレーションを行い、第1ヒートのライディングでスコアリングを確立しましたが、幅の広いライディングがなかった為スケール幅も広がりませんでした。

【選手の皆さんが正しくルールを理解しサーフィンコンテストの方向性を示す上でジャッジが重要な位置にあると思っています、スコアリングが地域や大会の規模で異なってしまうと選手は、どのサーフィン（ライディング）を目指せばいいのかが見失ってしまいます。国内外を問わずいかなる大会においても世界統一ルールでジャッジする事が選手の育成につながるからです。そして、ジャッジ基準はサーフィンの進歩と共に年々変化していますしこれからも進化していきます。】

ショートボードメン 4,5 級

・ヒート開始前のインターバルが長く、沖で待つことが多かった。

ヒートが終わったらヒート結果を早く出して次のヒートをすぐ始めてほしい。

⇒今回の級別での開始前のインターバルの長さに関しては、コンピュータースコアシステムでの不具合が有り、インターバルが長くなった事などは、謙虚に反省点と受け止め級別以降での大会には、事前でのシステムやリプレイカメラ等のテストを強化しました。今後も強化をし改善をして行きます。

ロングボードメン

若い子が増えてきたのでロングボードも年齢分けをしてほしい。

⇒登録人数が少ないとクラスの細分化は難しく、現状分けられる登録人数となっておりません。主催大会では各クラス応募人数が16名に達しなかった場合は、ポイント付与の対象外となり公認クラスとなりません。Aランクの大会は各クラス応募人数が8名以上で公認クラスとなります。クラス分け自体は検討しておりますが、統合クラスでの開催となる可能性はあります。

ボーイズクラス

・コロナ禍は承知だが、1日6試合は厳しい。

⇒コロナが収束後になります。この意見を鑑みて1カテゴリーのクラスは、1日6試合以下でのヒートを行う上で、2日間で行う様に大会開催委員会と共に検討致します。

ガールズクラス

- ・ポイントコールを早くしてほしい。

⇒出来る限り早くポイントコールを出来る様に致します。

- ・合宿を増やしてほしい。ウェーブプールでの技術練習をしてほしい。2022年度の強化指定の選考基準は。

⇒この意見を頂いた上で、12月から2月にかけてウェーブプールでのジュニア強化合宿を行いました。強化指定選手については選考基準とともにホームページで発表されています。

- ・男子同様クラス分けをしてほしい。

⇒登録人数が少ないとクラスの細分化は難しく、現状分けられる登録人数となっておりません。主催大会では各クラス応募人数が16名に達しなかった場合は、ポイント付与の対象外となり公認クラスとなりません。Aランクの大会は各クラス応募人数が8名以上で公認クラスとなります。しかし、世界選手権と同様のクラス分けを行いたいと思っているため、強化合宿ではU18, U16でクラス分けをして行いました。大会でもクラス分けが行えるよう検討しています。

ジュニアクラス

- ・ポイントコールを早くしてほしい。

⇒出来る限り早くポイントコールを出来る様に致します。

- ・良いライディングにはもっとエクセレントをつけてほしい、モチベーションにつながる。

⇒決してスコアを出し惜しみしているのでは、有りませんのでエクセレントライディングに対しては、勿論エクセレントスコアリング致します。

日本サーフィン連盟で行う主催、公認、支部の各大会では、その年のISA・WSLルールを基準にジャッジングを行っています。

ジャッジ基準や採点や集計方法、インターフェアレンスの判定は、国際基準に従っています。